

## 受精卵移植によるトウキョウX維持群再生と生産現場への応用

### 【研究概要】

トウキョウX原種豚の受精卵を低温保存し、遺伝資源を確保して海外悪性伝染病侵入への備えとする。供胚豚に人工授精し、6日後に麻酔下で開腹手術を行い、子宮灌流による採卵を行った。その中で今年度は下記の成果が得られた。

- (1) 手技の習熟と作業時間が必要であったが、受精卵の回収率も高く、安楽死による採卵と同等の成績であり、供胚豚からの複数回採卵の可能性が示された。
- (2) 受精卵の受胎性向上のため、人工授精（1回）5日後のトウキョウX母豚を受卵豚として、ガラス化保存した受精卵を移植（追い移植）したが、分娩された産子はすべて人工授精由来であった。